



## （統）（計）（用）（語）（の）（解）（説）

【乗数効果】 近代経済学の用語で、乗数とは一般に投資の増加分がその何倍の所得の増加をもたらすかという効果をいうが、単にこのような投資の増加と所得との関係だけでなく、広く経済的な一変数の変化がその乗数を構成要素とする他の経済的乗数に与える限界効果を測定する場合に用いられる。

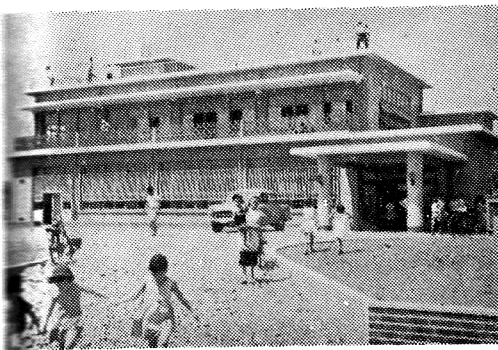
〔特惠ルート〕 緊急必需品などを輸入するとき、相手方の輸出業者にとって公定または基準レートの場合よりも有利なように特惠的に決められた為替レートのことである。

### 編 集 室

三に一度の事業所調査もすでに完了したが一息入れぬ間もなく、夏期農業基本調査で各市村の関係者は毎日お忙しい日を送つておられることと思います。大きな調査が終つたあとは誰でもホツと一安心する反面、『あれで間違いなかつたか』『あの時こうすれば良かったのに』などと喜びと心配の交錯した妙な心理状態になる。この心理こそ統計マンの特殊環境と尊い経験から生れる新しい調査への心構えを作る原動力になるのである。最近市町村において、町村合併の一段落によつて人事異動行われているが、統計関係者について

は、毎年統計主事資格認定講習会をはじめ各種の研修会を行い、調査統計に関する知識と技術の改善向上を計つているので、県としては少くとも3～5年以上の在職を希望したいものである。

◎いよいよ夏も終りを告げる頃となると海の色もますます濃くなり、強い残暑の光にもどことなく衰えを覚え、せみやこおろぎの声にも一抹の寂しさを感じる。しかし紺べきの空に巨人のように立ちはだかる入道雲、もくもくと伸び広がる積乱雲には男性的な力強さと季節の烈しさがこもっている。表紙の写真は近代的設備を誇る磯崎灯台である。



（境町役場庁舎）

